

ならやま・ビオトープ池の生き物 (2017年)



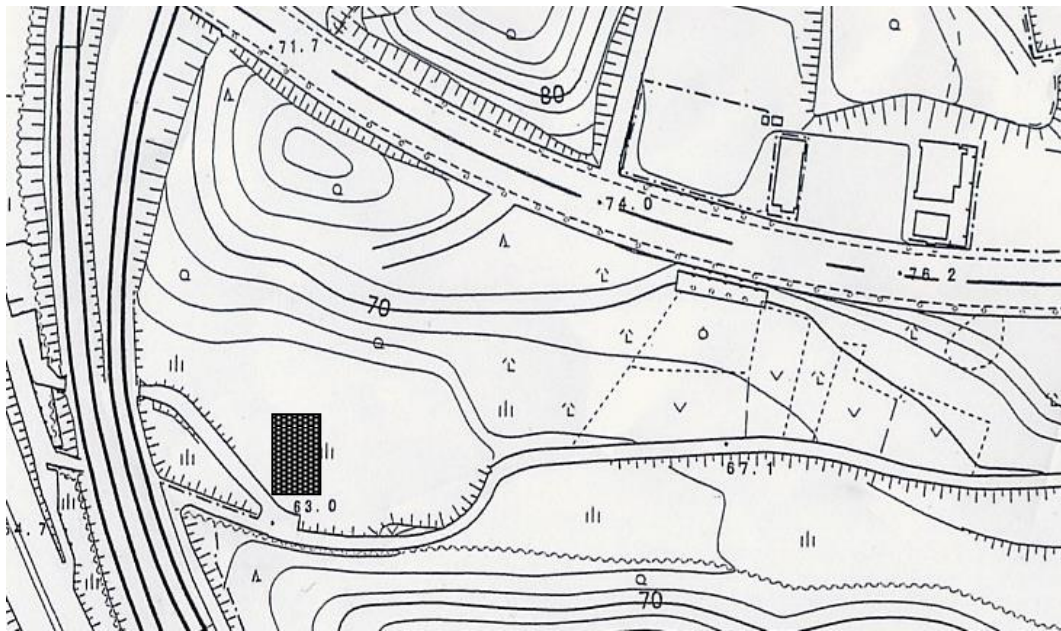
奈良・人と自然の会

目的

ならやまベースキャンプ地の荒れた湿地（昔は水田）の泥を取り除いて改修したビオトープ池にどのような生き物が飛来し、繁殖するかを明らかにするとともに、このビオトープ池がよりいっそう生き物豊かな池として維持保存し、子供達の環境教育にも活用する。

場所

奈良市佐紀町



ビオトープ池：東西 10 m×南北 16 m

2010年4月、ユンボで泥と湿地性植物をさらえ、下層の粘土を露出するようにした。

調査方法

- ならやま池の東、西、南、北、中央部の深みの5箇所において、直径 40 cm の丸網でほぼ 1m 方形程度の面積の池底をさらうように掬い取りを行った。
- 冬季の池の泥浚い後、2月から12月まで3週間毎に生息調査をおこなった。

一般管理

- 例年、1月に実施していた池の落水、泥さらえは行わなかった。
- 水管理はやや深め（40 cm）になるよう維持し、アオミドロに関しては発生に応じ、掬い取り除去を行い、密度増加を抑えた。
- ならやまでのイベントにおいて、子ども達に対し生き物の観察を実施した。

調査結果

1. 池面上の昆虫の見取り調査は実施しなかったが、前年に比べてイトトンボ類、シオカラトンボ類、アメンボ類の発生は非常に少なかった。
2. 観察された生き物の種類数は減少傾向が続き、貧弱になってきている。量的に多いのはならやま池で繁殖するエビ類、カワニナ、ミミズ類で、外部から飛来する昆虫類は種類数、個体数とも少なかった。

3. アシも繁茂し、アオミドロもあり、環境的にはよくなっていると思われるのに、飛来昆虫が少なくなっているのが何故だかわからない。

水中の掬い取り調査で確認された生き物

グループ	種類
魚類	ドジョウ、シマヒレヨシノボリ
環形動物	ミミズ類、
貝類	カワニナ、ヒメタニシ、サカマキガイ、巻貝の一種
両棲類	オタマジャクシ（ヌマガエル）
甲殻類	アメリカザリガニ、スジエビ、ミナミヌマエビ、ミズムシ類
トンボ目	イトトンボ類、
カゲロウ目	フタバカゲロウ類
カメムシ目	エサキコミズムシ、マツモムシ、コマツモムシ、
甲虫目	ハイイロゲンゴロウ、ヒメガムシ
ハエ目	ユスリカ類

1、ドジョウ

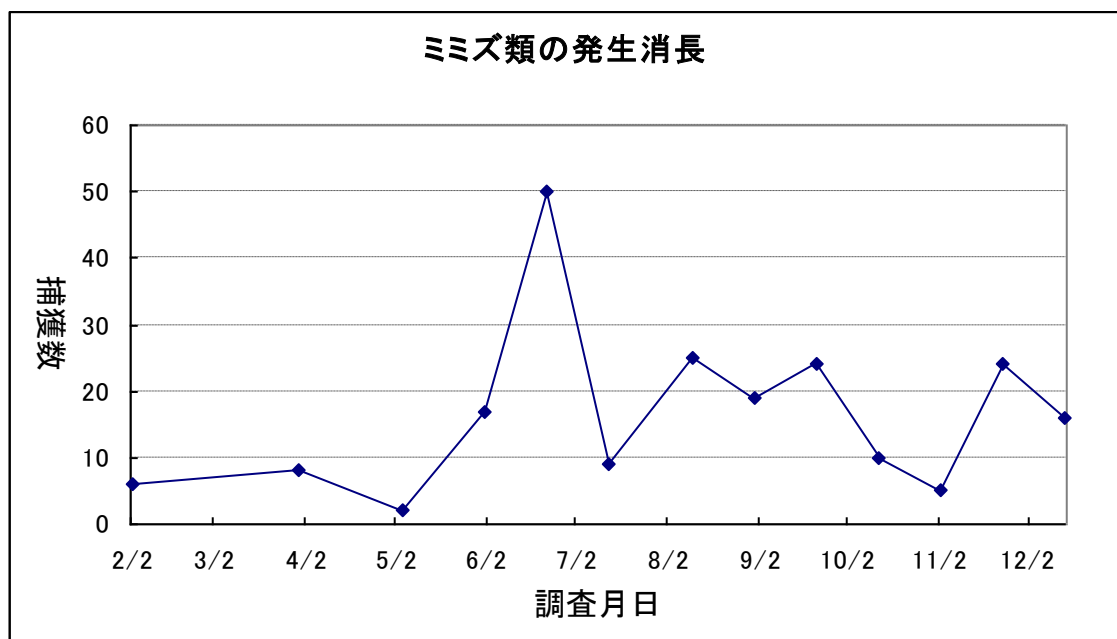
- ・ 8月～12月の間に17匹見付き増加傾向にあり、8月10日には5匹も見つかった。

2、シマヒレヨシノボリ

- ・ 3月～12月の間、ほぼ毎回見付き、総計14匹見つかった。たなご池から流出したと思われるが、数の多さと昨年も見付きしていることからならやま池でも繁殖し始めたのかもしれない。

3、ミミズ類

- ・ 調査期間中常に発生が認められたが、量的には前年に比べ少なかった。
- ・ 分布は池全体に平均的に見られ、調査地点による差異はほとんどなかった。



4、オタマジャクシ (ヌマガエル)

- ・ オタマジャクシは6月22日に1匹見つかったのみであった。

5、ミズムシ類

- ・ 5月4日に1頭見つかったのみであった。

6、ヒメタニシ

- ・ 2～12月の間に見られ、8月10日の6匹をピークに総計17匹見つかった。

7、アメリカザリガニ

- ・ 非常に少なかった。5月4日の調査では5匹見つかったが、それ以降2匹見つかったのみであった。

8、マツモムシ

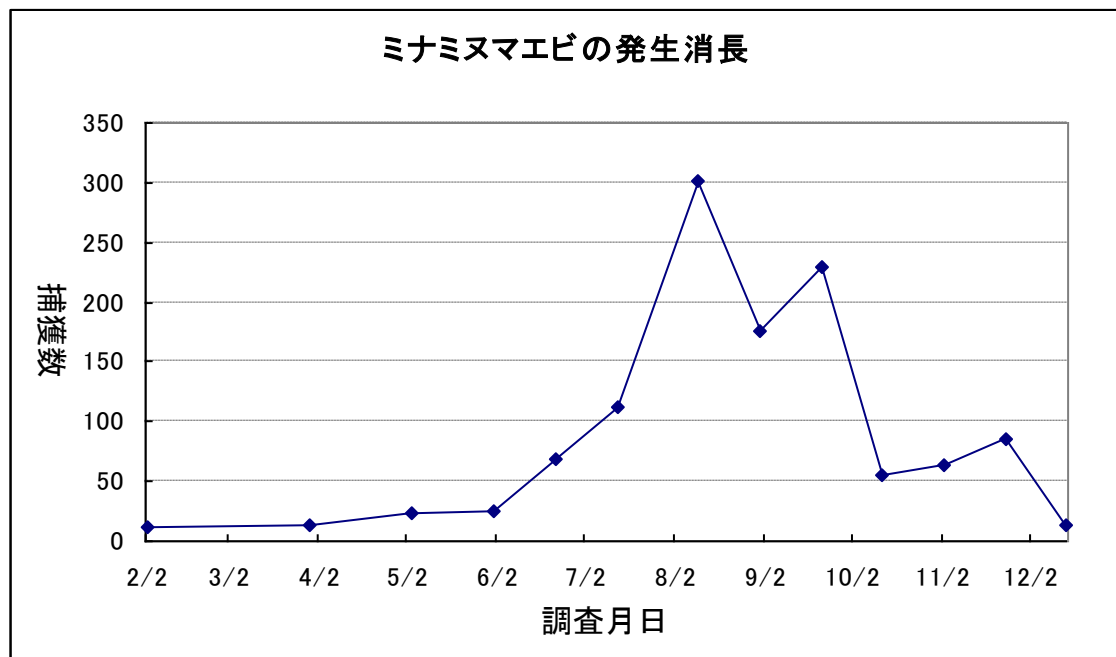
- ・ 発生は非常に少なく、2頭のみであった。

9、ハイイロチビミズムシ

- ・ 例年、ある程度発生するが、本年はまったく発生を確認できなかった。

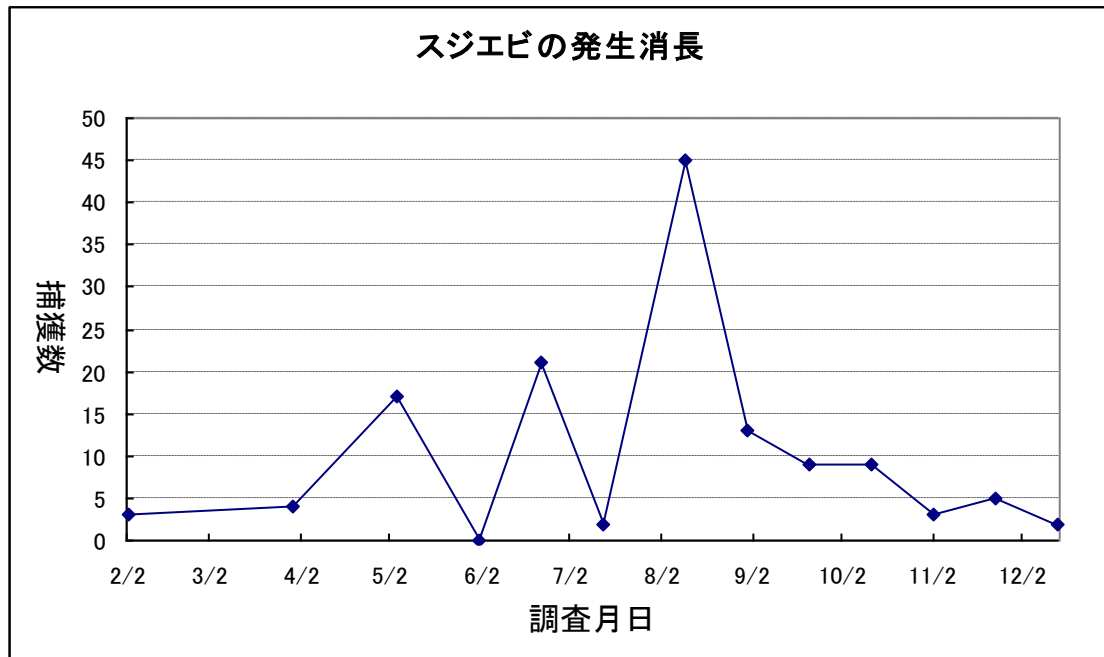
10、ミナミヌマエビ

- ・ 周年発生が認められ、前年同様に発生ピークは8～9月であった。しかし、発生量はかなり少なかった。
- ・ 発生量は調査地点別では、西側が最も多く、ついで中央の深みであった。



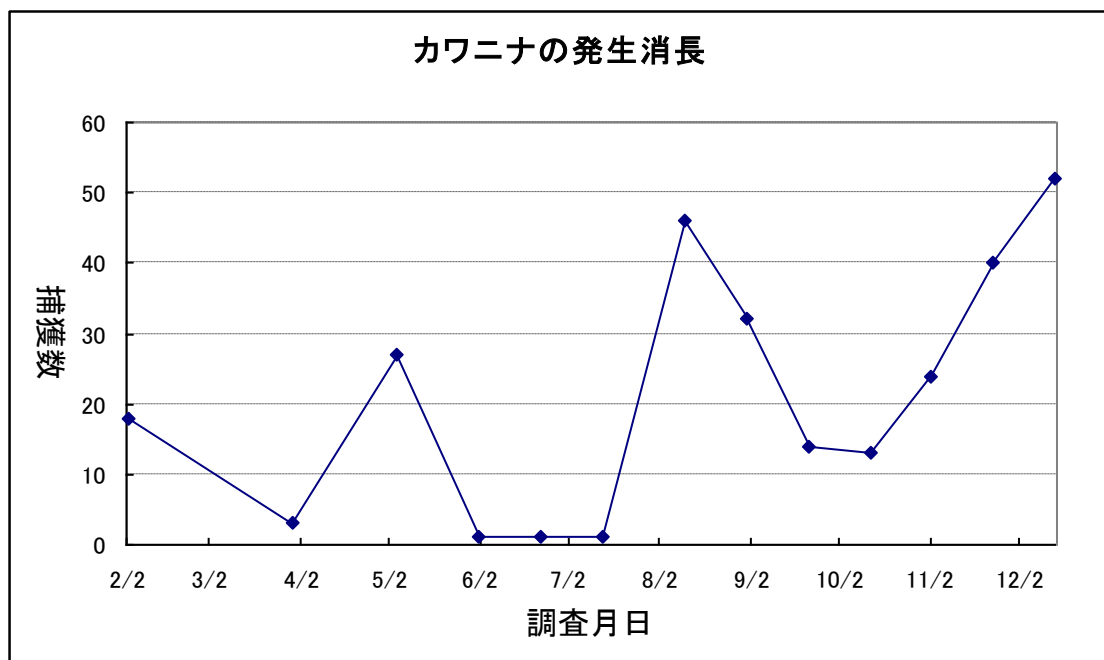
11、スジエビ

- ・ 周年発生が認められ、その発生ピークは8月であった。
- ・ 発生量は前年とほぼ同じであった。発生個所には地域さはなかった。



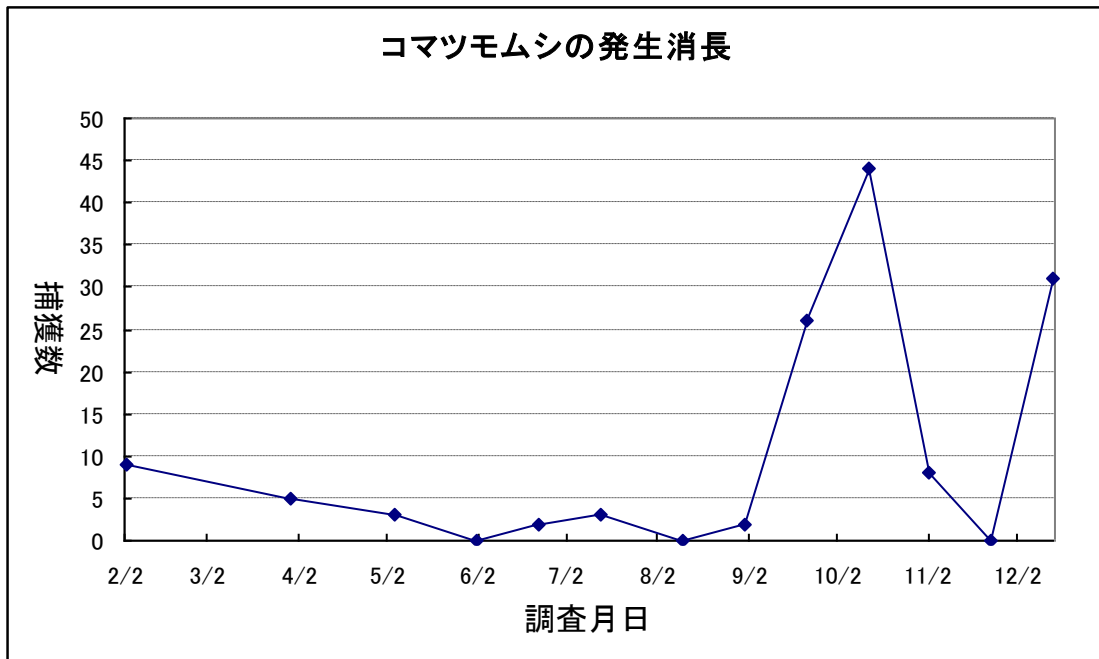
12、カワニナ

- ・ 周年発生がみられた。2～5月にかけてかなり見つかったにも関わらず、6～7月にはほとんど見つからなかった。原因は不明。
- ・ 調査地点別では、前年と同じように池水の出口にあたる南側が圧倒的に多かった。ついでアシが繁茂する西側が多かった。一方、中央部の深みはわずか2匹のみであった。



13、コマツモムシ

- ・ 周年発生が見られ、高温期は前年同様に少なかった。発生のピークは10月のみで、春季の発生は少なかった。量的には前年よりも少なかった。
- ・ 場所別では、アシが繁茂する西側に集中し、他の箇所は少なかった。

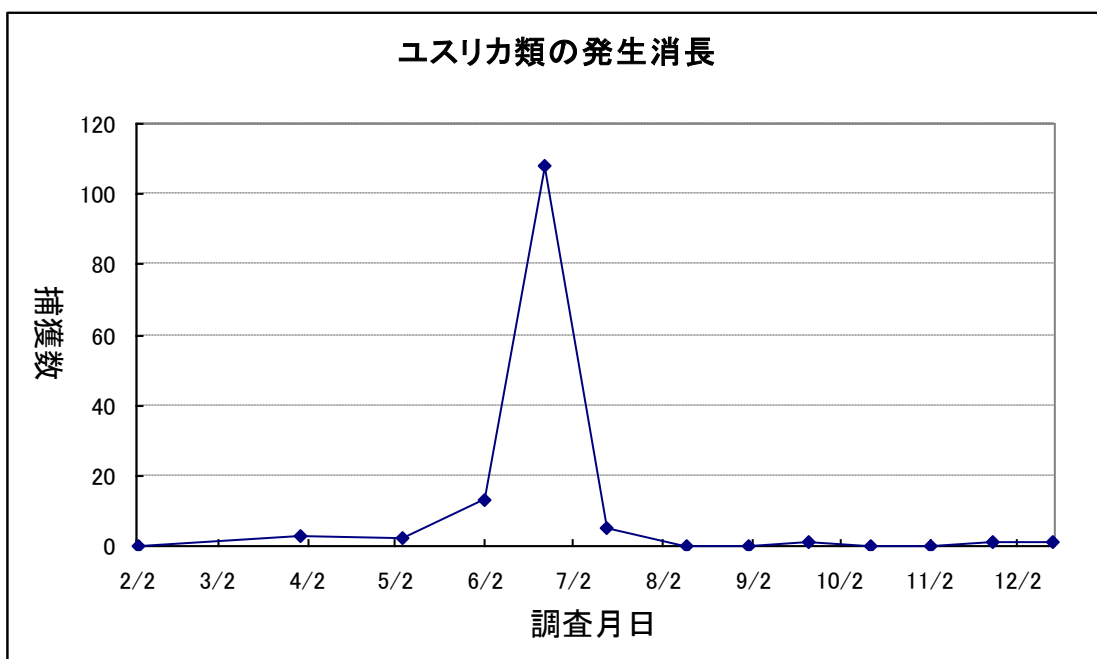


14、エサキコミズムシ

- ・ 発生量は前年に比べ、非常に少なく、わずか2頭のみであった。

15、ユスリカ類 (赤色タイプ幼虫)

- ・ 3月末から発生が見られ、6月下旬にピークとなった。前年に比べ、発生ピークは一か月ほど遅れた。



16、フタバカゲロウ類（幼虫）

- ・ 6月に6頭見つかったのみであった。

17、トンボの幼虫（ヤゴ類）

- ・ イトトンボ類のヤゴが少し見つかったのみであった。
- ・ 目視調査では、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマ、チョウトンボの成虫が少し見つかった。イトトンボ類は少なく、減少傾向が続いている。

20、甲虫類

- ・ 種類数は僅か2種で、種類数、個体数とも非常に少なくなっている。
- ・ ヒメガムシは5月と9月に各1頭。
- ・ ハイイロゲンゴウは、7月と10月のみで合計4頭に過ぎなかった。

21、アメンボ類

- ・ 水面上を遊泳している生き物のアメンボ類では、アメンボ、ヒメアメンボが主で、ホソアメンボはわずかであった。

調査・とりまとめ担当者

景観グループ：ビオトープ池担当者

池山玲子、岡崎節子、木村 裕、
小島武雄、竹本雅昭、戸田博子、
羽尻 嵩、守口京子、山本妙子、

調査とりまとめ日

平成30年1月15日

どじょう

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南							1	3	1			1	1
西							2		1				
北													
東							1		1		1		2
中央							1					1	
計	0	0	0	0	0	0	5	3	3	0	1	2	3

アメリカザリガニ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			1				1						
西			1		1								
北			1										
東													
中央			2										
計	0	0	5	0	1	0	1	0		0		0	0

ミナミヌマエビ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南		1	14	4	11	6	18	9	13	3	13	7	1
西	10	9	3	4	11	19	138	89	61	16	16	7	1
北	1	3	7	5	26	39	18	26	32	10	12		1
東		1		4	13	14	10	19	96	10	9	11	
中央				8	7	34	117	32	28	17	14	60	11
計	11	14	24	25	68	112	301	175	230	56	64	85	14

スジエビ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			11		3		6	3	3	5	1	1	1
西							11			1			
北	1		1		18				2			1	
東		1				2		10	4	2		3	
中央	2	3	5				28			1	2		1
計	3	4	17	0	21	2	45	13	9	9	3	5	2

カワニナ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南	3	2	6				17	25	8	6	15	26	30
西	2			1			23		4	5	1	4	1
北	2		21				1		2	1	6	5	4
東	4	1			1	1	3	7		1	2	5	8
中央	7						2						9
計	18	3	27	1	1	1	46	32	14	13	24	40	52

ヒメタニシ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			2				1					2	
西			1				3		1			1	
北							2						
東	1					1						1	
中央													1
計	1	0	3	0	0	1	6	0	1	0		4	1

ミミズ類

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南		4	2	7	9				4	2		10	1
西	2				15		13	3	6	2	1	6	1
北		2		5	10	1	1		5			2	
東		1		1	8	3	8	7	7	5	4	5	12
中央	4	1		4	8	5	3	9	2	1		1	2
計	6	8	2	17	50	9	25	19	24	10	5	24	16

ハイイロゲンゴロウ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南						1							
西										1			
北						1							
東						1							
中央													
計		0	0	0	0	3	0	0		1		0	0

コマツモムシ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			1								5		24
西	3	5	2			1			22	26			1
北	1				1	2		1					
東	5				1			1	4	10	2		1
中央										8	1		5
計	9	5	3	0	2	3	0	2	26	44	8	0	31

ユスリカ類 (赤色)

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			2		57	1							
西				1	24								
北		3		3									
東				7	17	2			1			1	1
中央				2	10	2							
計	0	3	2	13	108	5	0	0	1	0		1	1

フタバカゲロウ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南													
西				2	1								
北				3									
東													
中央													
計	0	0	0	5	1	0	0	0		0		0	0

イトトンボ類のヤゴ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南				1									
西				1	1								
北													
東													
中央													
計	0	0	0	2	1	0	0	0		0		0	0

シマヒレヨシノボリ

月	2	3	5	6		7	8		9	10	11		12
日	2	30	4	1	22	13	10	31	21	12	2	23	14
南			3		1	1						1	
西		1	3						1				
北													
東						1		1					1
中央													
計	0	1	6	0	1	2	0	1	1	0		1	1

発生が少なかった種

生物名	調査日別、場所別、確認頭数
ミズムシ類	5/4 北 1 頭
ヒメガムシ	5/4 西 1 頭、9/21 西 1 頭
チビゲンゴロウ	5/4 北 1 頭
エサキコミズムシ	8/31 西 2 頭
マツモムシ	6/1 南 1 頭、10/12 南 1 頭
サカマキガイ	6/22 北 1 頭
巻貝の一種	11/2 東 1 頭
おたまじゃくし	6/22 西 1 頭

水面上で目視した生き物

目 視 日	目視された生き物
3月30日	池の中州でカモの産卵 (2 個)、ふ化しなかった
6月1日	アメンボ、ヒメアメンボ多数
6月22日	アメンボ類多数、シオカラトンボ、チョウトンボ
6月2日	ヒメアメンボ多数、シオカラトンボ
7月13日	アメンボ類、シオカラトンボ多数、チョウトンボ、モノサシトンボ
8月10日	アメンボ類多数、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、アキアカネ
8月31日	シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ナツアカネ、オオシオカラトンボ
9月21日	アメンボ類、シオカラトンボ、ショウジョウトンボ、ギンヤンマ
10月12日	ホソアメンボ
11月2日	モズ、セキレイ